

平成 30 年 12 月
第 389 号



地元彫刻家:天野裕夫氏(若い頃の作品)



お
お



おもな内容

- ・大湫小の思い出 … P2～P4
- ・大湫町文化祭 … P5
- ・牧野氏の紙芝居 … P6
- ・「オオクテ・ツクルテ」 … P7
- ・寿大学合同研修会 … P8

かわいい侍女姿の娘さんと“パチリ!!”

「秋の大湫宿」イベントより

大湫小学校の思い出

昭和五十七年より 石神正子

♪ はるかに続く 雲の峰

本陣山の学び舎は…♪

なつかしいこの校歌を何度歌ったことでしょうか。緑の帽子をかぶって走ったり歌ったり、元気いっぱい飛び回る子供達。太陽の光が教室の北の隅まで届くまさに光り輝く小学校でした。

昭和五十七年四月赴任しました。初めての小学生は二・三年生の複式学級でした。当時、全国的に体力作り全盛期でした。「朝運動」に「業間運動」と子供達は忙しく、瑞浪市陸上記録会に水泳記録会と音楽会。今では考えられないくらい忙しい小学生生活でした。そんな中、大湫小は山田秋子校長先生・小嶋志郎教頭先生のもと、陸上記録会でも水泳記録会でも他校と肩を並べ競い合いました。

た。見事な活躍ぶりに何度も胸が熱くなりました。

初めての学校キャンプの時、キャンプファイヤーに点火される頃、児童の数より多いのではと思うほどのご父兄様が駆けつけられびっくりしました。熱心な両親に見守られ幸せな子ばかりだと思いました。

三学期の学習発表会、子供達の出し物に父兄の皆さんの劇。大きな馬がヒヒーンと登場したのにはびっくり。皆さんの熱意にたじたじとしました。頑張らなくてはと思ったことを覚えていきます。

ある年、東京都の小学校で百名以上の六年生が運動場いっぱいには散らばり「利根川」というオペレッタを演じるのを観ました。広い運動場に響き渡る「利根川は！」の語りと歌声に、鳥肌が立ちました。けれど、歌声は大湫小の子も負けてない。「いつか大湫小でも運動場でオペレッタ

を」と密かに思いました。

ある日、天野長三郎さんから「はかたゆり」のお話を聞きました。そして、「桃山」一帯に咲き乱れる百合の花を子ども達と一緒に見ました。あまりの見事さにみんなで歓声を上げました。桃源郷とはこのことだと思いました。大湫に根付いた、歴史あるこのドラマチックな「はかたゆり」をぜひオペレッタにしたいと思いました。永井万佐子先生、大野温子先生と相談し、子ども達と台詞と曲作りに取り組みました。

「ここは、中国四川省！」から始まるオペレッタが完成しました。「さけよー さけよー」の歌声がグラウンドいっぱいには響きましました。

「咲き誇れ は



天野氏桃山のアトリエ前にて

かたゆり」が完成したのです。運動会や発表会で上演し、子ども達は沢山誉めてもらいました。本番に強い、子どもたちの底力に感動しました。

陸上記録会が近づく

と、大湫小では、百メートル走やハードル走・千メートル走・四百メートルリレーの練習ができません。そこで、大湫病院のグラウンドを借りて練習しました。授業が終わると、車にハードルや石灰・ライン引きを積み込み一足先に大湫病院のグラウンドに出掛け、二百メートルのトラックを描き、百メートル走のラインを引き、八十メートルのハードル走の準備をしました。準備ができた頃、五・六年生が到着します。さんざん練習し、終わると、大湫・神田地区の子は、又帰らなくてはなりません。特



陸上記録会入場行進

に神田地区の子は大変なことです。今では考えられないことです。大湫小の子が強かったのは当たり前のことだと思えます。絶妙なバトンさばきでリレーではいつも首位を争っていました。

冬になると、朝運動の時間、浦田の田んぼの中の道を、雪を蹴って長靴で走りました。半袖の子も何人かいたと思います。

とにかく、元気でした。私も、必死でついて行きました。

浦田（野田）の農道は五十メートル走の大切なコースでした。

夏になると、二十五メートルのプールでよく泳ぎました。五・六年生は全員水泳の選手です。全員がスタート台から飛び込まなくてはなりません。夏休み繰り返し練習しました。



大湫小のプールは一度プールから出ると寒くて二度とプールに入れなくなります。そこで、校長先生にお願いし、プールの周りにビニールシートを貼ってもらい、プールを囲ってもらいました。

少し寒さが和らいだことを覚えていきます。

消毒槽には、いつもスイカ

が浮かんでいました。泳いだ後、みんなで美味しく頂きました。近所の方々がいつも優しく見守っていて下さいました。とても美味しかったです。

平成になってから大湫町に太鼓がやってきました。小学生にも叩かせてほしいと公民館の宮地さんに哀願しました。子ども達と相談し、利六先生の「白蛇の泉を」選び、音作りに取り組みました。

ビニールシートが貼ってあります



三・四メートルもある孟宗竹を何本も届けて下さった方がいました。手がしびれるほど孟宗竹を叩き、バチを何本か折り、曲が出来上がっていききました。低・中学年の子の白蛇の踊りやあふれる泉の踊りを加え、運動会で発表しました。完成させることの喜びをみんなで味わいました。三月になると、六年生は「バチ、渡し式」を行い、自分が叩いた音を四年・五年生に教え、卒業していきました。

太鼓「白蛇の泉」は、三十年近く経った今も受け継がれています。子ども達が作り上げた大切な曲を受け継いで来て下さった大湫の方達の熱い思いに感動しています。



三十八年の教員生活を終えるとき、教育長さんが「心に残った生徒・児童のことを話して下さい」と言われました。

私は、大湫小の三年生のY君の事を話しました。

ある日、山田校長先生と運動場の真ん中で話をしていました。すると、私達の周りを黒く大きなハチがぐるぐる回り始め、「ぎゃー」と声を上げました。すると、三年生のY君がやってきてぐるぐる回る輪の中に入り仁王立ちになり、「先生達にはげやー。僕がたつとるで！」と。私と山田先生がどうしたかは書けません。又、Y君は三学期の終業式の日一輪車を引いてきました。(荷物用)なぜなら、「妹の分まで荷物を持っていかないといけないからと・・・」案の定、一輪車にランドセル・習字道具・絵の具セット・作品の数々、座布団などを二人分積み込んで帰って行きました。

した。見事なお兄ちゃんでした。私が出会った大湫小の子達は、今や大湫町をしょって立つ若者達です。頼もしい限りです。

思い出を書き始めたら止まりません。本当にお世話になりました。ありがとうございました。又、沢山迷惑をかけました。すみませんでした。

大湫小での九年間は私の宝物です。大湫小学校を巣立った全ての皆様、ご健康とご活躍を心からお祈り致します。

不慣れな先生(私)を支えてくれた大湫小で最初に教えた六人の生徒たち



一年間お付き合い頂きました旧大湫小の思い出は今回をもって終了させて頂きます。ありがとうございます。

大湫町文化祭 11/3(祝・土)



男太鼓「大杉」が復活！集まろう会大湫太鼓で演奏



「旧大湫中学校」の竹細工(三戸憲和氏:作)。釜戸中学校閉校記念展示品の数々に皆さん釘づけ！



故郷へUターンされた彫刻家「天野裕夫展」を同時開催。トークショーも催され作品への意気込みをお聞きすることができました。

幼・小・中学校の作品を始め、寄せ植えや生花・子ども会・まちづくり団体や個人の力作が勢ぞろい。

芸能の部では今年も「日本舞踊」が披露されました。新たな企画としての「オープンカフェ」や「芋煮会」も催され、大湫町らしい文化祭を開催することができました。出品・出場して下さった方々やご来場くださった皆様に感謝いたします。

また、青少年ボランティアを始め、スタッフの皆さんお疲れ様でした。来年もよろしくお願ひします。

40年ぶりの晋山式 11/4(日)

宗昌寺にて晋山式が挙行され、奉賛稚児行列も行われました。

僧侶や稚児参加者・関係者と沿道の人たちを含めると300人以上となり、秋祭り以来の賑わいとなりました。



牧野氏の紙芝居(リ・アップ「ひよも」にて)11/7(水)



岐阜新聞より

すごい!!
「和宮降家」が紙芝居に…

新聞記事のように、大湫宿の歴史を丁寧に調べていただきました。そして、大湫宿を実際に歩き、打ち合わせをし、1年かけてこのような力作を作り上げてくださいました。感無量です。また

「ホタルの話」では参加者と一緒に“ホタルの宿”を歌いながらの筋運びで共感できる喜びを味わう事ができ、その構成と意欲に頭が下がりました。「勉強になりました」と小川議員。ちょっと早い小春日和の中、参加した皆さんも同じ思いで心和む時を過ごすことができたと思います。

リ・アップ “ひよも” だより
クリスマス会を予定してます

12月のお茶のみ会のおさそい
日時：12月5日(水曜日)
9:30~11:00頃まで
場所：ふれあいセンター
参加費：50円
“お待ちしております”



十二月の俳句

寺坂の古りし石仏菊日和
山口雪子

石仏の欠けし一体草紅葉
天野辰代

晋山式稚児賑賑し秋の寺
爽やかや薄化粧の娘よく笑ひ

融雪剤ありますよ



利用の方は、今まで通り個数を書いていただきますようお願いいたします。場所は昨年と同じ所にあります。



「オオクテ・ツクルテ」開催 11/10・11(土・日)



会場全景



まずは、みんなでラジオ体操！



会場から、美味しいにおいが…！



香ばしいにおいが…



出店のまわりはずっと
い人だかり…！！



「大クテの市」も大盛況



なつかしい歌が流れ、会場を盛り上げてくれました

前日の夜中まで続いた雨もあがり足元を心配しましたが、開催日の二日間とも晴天に恵まれ 2,500 人もの方が会場に足を運んでくださいました。

これも、地元の有志が交通整理やスタッフとして『縁の下の力持ち』のごとく協力してくださったおかげです。

町内の皆様、ご協力・ご理解ありがとうございました。

色づく西明寺と彦根城を訪ねた「寿大学合同研修」

「舐めた程度で、よーわからんがネー」「やっぱ、大吟醸だよ」。酒蔵の岡本本家での試飲。酒造りの説明を聞いた後、試飲に入りました。グラスに注がれる大吟醸は、わずかに一口。グラスを持つ男性の手が大吟醸の試飲に伸びる。舐める程度だと評した女性は、どこの寿大学の方か。

棚にあった「金亀」の 720ml の日本酒がどんどん売れていきます。ここは創業 160 年の近江地酒の酒蔵。岡村本家。

「瑞浪市寿大学合同研修」(平成 30 年 11 月 14 日) の最初の訪問地がここでした。日本食ブームで、日本酒も今や世界から注目されています。日本の伝統が、この分野でも見直されつつあります。



本年度の合同研修の企画は、中央公民館。この酒蔵見学の後は、湖東三山の一つ西明寺と彦根城。西明寺は、本堂まで距離があり石段でできた登り。食後であったこともあり、参加者の多くが「えらいわー」。それでも、苔の緑と色づき始

めたカエデが鮮やかで、本堂へ行く勇気を与えます。

井伊家の居城、彦根城は国宝。ここも駐車場からだいぶ歩かなければなりませんでした。参加者の健康を配慮して「バスに残っても良いですよ」と中央公民館館長から改めて注意情報。31 名ほどが彦根城を目指し、天守からの眺めを堪能します。晴れて眺望がよく、近江(都から近く海)琵琶湖に白波が立っていました。「あれが佐和山」「石田三成が睨みをきかし場所だよ」「伊吹山も意外と近いね」「“かくとだにえやは伊吹のさしも草 さしも知らじな燃ゆる思ひを”と歌った都人には身近な山だったんでしょうね」。歴史談議も始まりました。

平日にもかかわらず多くの観光客が来ていましたが、観光バスの台数はやはり少ない感じ。天守へ登る急階段での「渋滞」以外は、ゆっくり見て回れた研修でした。



ほぼ予定通り、瑞浪に帰着し「来年もまた、研修会に参加しましょう」。楽しい合同研修でした。大湫から参加された皆様、大変お疲れ様でした。

ノルディックウォーキング 10/28(日)

大湫の紅葉も日増しに色づき始め、心地よい日差しの中「ノルディックウォーキング」が開催されました。

コースは旧小学校→裏田→花の森駐車場→東屋→清涯荘近辺→釜戸道→観音堂→旧小学校（ゴール）



JRさわやかウォーキング 11/18(日)

今年は侍女3名・侍3名がおもてなし。

総勢1,000人ほどの方が訪れたウォーキングに華を添えてくれました。

「三人展(写真)」

H31.1.6(日)~1.30(水)

瑞浪市地域交流センター「ときわ」

「大湫文化祭」にいつも素敵な写真を展示していただきます『小栗和茂氏』が、今回も大湫病院職員（写真友達）の渡辺 昭氏と水野竜樹氏の3人で写真展を開催されます。

皆さん、ぜひ観に行ってくださいね



*大湫宿お休み処

12月から3月までの営業はお休みさせていただきます。
これからも、お客様に美味しい五平餅を提供できるようスタッフ一同努力してまいりますのでよろしくお願い致します。



*おしゃべりサロン「こぶし」(100円コーヒー)



12月営業日 第2土曜日のみです。

営業時間 AM9:00~AM11:00

営業場所 ふれあいセンター

大湫中学備忘録 (6)

1. 小規模をメリットに

大湫中学の五月五日開校式に備え、教員四名の着任が発令されました。一般教員に先立つ四月十日、校長森川清爾。二〇日付で篠田・奥村・愛知の三教師。

篠田政一は白山小学校から転任。

この学校は明治四二年に創立され、名鉄新岐阜駅から北東に徒歩十〇分程の所に現在もあります。着任後、三年生の担任となり、数学・社会・体育・理科の五教科を担当します。翌年(一九四八年)大湫小学校に転任し、一九五〇(昭和二五)年まで大湫の地で教鞭を執りました。

新任で着任した助教諭(一)の愛知時夫は、二年生の担任、六教科(職業・図工・数学・社会・理科・体育)を受

け持ちます。

一年生の担任は奥村重。一九四六年、大湫国民学校に着任。翌年、大湫中学の開校と共に着任し、四教科(国語・習字・社会・家庭)を担当します。

開校時の大湫中学は全校生徒六四名、三学級の小さな学校でした。職員も専任教諭が三名。校長は初代から三代目まで、養護教諭は昭和三六年三月まで、小・中兼任でした。

中学校は教科によって担当が変わる教科担任制を執るのが普通。ところが大湫中学では、一人の教員が複数の教科を担当しなければならず、教員の負担も大きかったと思われれます。その反面、生徒と触れ合う時間は多くなり気心も通じ、生徒の家庭状況も把握できていました。

三名の教員では全く余裕がなく、休むことさえままならない状況でし

た。この体制を「なんとかしたい」と森川校長の働きかけもあり、(一九四七年)八月に恵那郡本郷村立大成小学校(現恵那市立岩邑小学校)から安藤富代の転任が実現。

当時は学校独自の裁量がかなり認められていたこともあり、時間割には教育方針が反映しています。昭和二四、二五年度は、職業家庭科を重視。四時間を必修科目、選択科目に二時間を配置しました。

「進学者について考慮しなほ社会人としての必要性を考え英語を選択コースに取入一年は学校選択として全生徒」に選択させました。英語重視の姿勢が見られます。一九五三(昭和二八)年度のカリキュラムの基本方針でした。

少ない教員のデメリットを地域の教育力で補填。「コミュニティスクール

の考え方」から「地域の指導力を最大限に利用することに重点を置く」ことにします。

一九四八（昭和二三）年二月におこなわれた「椎茸栽培講習会」の講師は、上願寺（御嵩市）和尚渡辺老師。「竹細工講習」（昭和二七〜二九年）講師、桐井璋。まさに地域に依拠した教育実践です。

今日では、キャリア体験（職場体験）は、多くの中学でもおこなわれて、全国実施率は九〇%（二〇〇四年、文科省報告）。

ところが、大湫中学では一九四八、九（昭和二三、二四）年、職場体験がおこなわれています。「役場、農業会に一日吏官、事務員として執務」（昭和二三年）「役場農協組に執務（全生徒交替）」（昭和二四年）。小規模だからできたことでもあります、この必

要性を認識した教員たちと受け入れてくれた地域の事業者が大湫にはあったのです。

森川校長は一九四八年度の二学期、休職を余儀なくされました。結核でした。生徒の力を伸ばすことに奔走したこともその一要因でした。十一月から四か月間、補充教員で教壇に立ったのは篠田まさ。

戦後の教育は戦前に比べ一八〇度も変わる変容でした。教師たちも指導内容を変更し、自らの世界観まで問い直すことを余儀なくされました。

そして小さな学校にもかかわらず「実験校として…自主的学習態度の養成」「発表能力の養成」をテーマに十一月と翌三月、二回の発表会をおこなったのです。これを牽引したのが森川でした。

(1) 臨時免許。戦後の教員不足で、

助教諭数は多かった

2. 多士済済の教員

ある時、農協にやって来た森川が「金を貸してくれないかね」と。「貸してくれといわれても…」
「担保ならちゃんと用意するから。金を貸すのが商売だろうが…」
こんなやりとりがあったといいます。

料理旅館「S館」に友人・知人を始め教育関係者なども招き入れ豪快に遊んだと。時には、遅くなったため「送ってやる」とタクシーを使うことまで。当時のことですから、ずいぶんお金がかかったはずですよ。

「K区に『S館』の土地がある。あれは、森川の借金のカタに『S館』にわたったものだ」とも。

戦後、教育内容は無論、人事面に

おいても大きく変わりました。公立学校の女性校長登用もその一つでした。

奥村重は県下初の女性校長。それも小・中兼務。教育にも民主化の大きなうねりがあつたと言え、一九四七～五九年の間に女性校長が中学で誕生した県は、十六県⁽¹⁾に過ぎません。

奥村が退職すると、「土岐郡教祖委員長、桑原三郎」が後任として着任します。一九五三年四月のことです。「職員の和を全ての根幹となし生徒の生活指導基礎学力の向上」を教育目標に掲げました。

翌年の一九五四(昭和二九)年度、定期異動により教頭の高島俊次が市教組専従となります。教員数が少ない大湫中学から、教職員組合の専従として派遣することは学校をあずかる校長にとっても大きな決断が迫られました。桑原校長は教祖委員長の経験者。

前年度の年明け早々のことでした。高島が桑原に「組合専従の依頼があるが：」。この相談に、しばらく考えた桑原は「分かった。心置きなくやって来い」と。

高島に代わって足立利六が教頭として釜戸中学より着任しました。

一九五五(昭和三〇)年度は教員の異動が無いスタートでしたが、六月に急遽、石井定が市教組の委員長として専従することが決まり、高島俊次は復職しました。

たかだか、六～七名の教員構成から「組合専従」を送り出すこと、それも年度途中。生徒に大きな影響を与えることが予想され、残された教員のバックアップが不可欠。残された教員の負担はなにかと増えます。この人事は桑原三郎校長でなければ実現しなかったと思われれます。

桑原は大湫中学の沿革史を整理し、記録を残すことにも腐心しました。彼が着任した当時、まとめられたものはありませんでした。そこで「当時の記録其の他を参酌して」一九五三(昭和二八)年五月沿革史を作成。彼の退任後も作成が受け継がれたのです。

(1) 高野良子「公立中・高等学校の女性校長の登用」『植草学園大学研究紀要』第六巻 二〇一四

3. 生徒減から閉校へ

一九四九(昭和二四)年以降、開校当時より教員数は増え、兼任を含め七人前後を推移します。

生徒は一九五一(昭和二六)年に全校生徒百八名をピークとし、以後増加することなく減少をたどります。住民の転出が起きたのです。

一九五八(昭和三三)年、八〇名。

翌年が六五名、一九六〇年は四六名。

まる

戦後の第一次ベビーブーム世代、団塊の世代が中学生になる年を迎えても、

「参考」

全校生徒数が増加する兆しはありません。

校長一覧（着任順）

都市部は団塊世代が中学入学時期を迎え、教室の増築を迫られていま

森川清爾・肥田正雄・奥村重・桑原三郎・梅村七郎・橋詰俊郎・和田光郎（敬

した。大湫中学では生徒数の減少に悩

称略）

まねばならなくなっていました。

一九五八（昭和三三）年、釜戸中

学と統合する三年前、合併が検討され

教員一覧（着任順）

始めていました。梅村七郎が校長の時

篠田政一・奥村重・愛知時夫・安藤富

代です。

代（病休代替）・加藤周藏・酒井角藏・

一九六〇年、一、二年生は複式学

高島俊次・篠田まさ・曾根内海・永井

級となり、全校二学級。このクラス減

桂・天野辰代・石井定・大竹照子・下

数では日常の教育に支障が生じるた

條久生・斉木千代子（産休代替）・足立

め、「育友会にて教諭二人を雇い授業

利六・大竹築子（産休代替）・酒井新

面の円滑化を計る」ことにしたのです。

六・野田宏・神津一男・水野時三・交

告良次・小林尚司・横山和視（敬称略）

（1）「教職員定数の標準に関する法

律」により、学級数により教員数が決

大湫公民館職員募集

役職	職員数	職務内容	条件
公民館長	1名	・公民館を代表すると共に、自主事業を主催する。 ・公民館の管理運営を総括し、管理運営に関し必要な指示を行う。	・公民館活動について熱意のある方。 ・非常勤で、週2日程度勤務できる方。
公民館主事補	1名	・総括公民館主事を補佐し、施設の予約受付等、施設管理及び自主事業を行う。 ・支所業務（市民課・税務課証明書発行等）を行う。	・文書・表作成程度のパソコンのできる方。 ・非常勤で、週2日程度勤務できる方。

*詳しくは大湫公民館まで TEL : 0572-63-2360

晴天に恵まれた

大湫町民ゴルフ大会



十一月十四日の秋の好日、中仙道ゴルフ倶楽部さんを会場として町民ゴルフ大会が開催されました。

三十数名の参加者には、ゴルフ場の職員の皆さんにも加わっていただき、和気あいあいの中にもコース管理や運営の在り方も話題にしながらの意義深い大会となりました。今年も町を支援していただいたチャリティ夏祭りも十回の節目の年を迎え、新たな魅力を考える上でも大切な年となります。町の活性化と併せ共に努力していくことを確認する良い機会ともなりました。

優勝した三戸憲和さんと、エイジシューターのお披露目のあつ

モンテール美濃加茂工場へ 11/24 (土)



大湫子ども会が「おたのしみ会」でコンビニやスーパーで手軽に買えるモンテールの洋菓子工場へ行って来ました。試食もできて子ども大人もとても楽しい一時を過ごすことができました。

た伊藤勝祐さんのユーモアのあるスピーチに、パーティー会場も笑顔にあふれ、楽しいスポーツの秋を満喫することができました。

釜戸小中音楽会 10/30 (火)

(釜戸中ラストイヤー閉校記念事業)

釜戸中最後の音楽会が釜戸小学校の5・6年生と保護者や多くの地域の方々と一緒に開催されました。釜戸中学校は以前からとても美しいハーモニーで知られていますが、小学生も負けなくらい上手でした。

最後に会場の皆さんと一緒に「ふるさと」を歌いました。



ピン・ピン

「いっしょ」を目指して

女性は八十七歳、男性は八十一歳まで生きるのが我が国の平均と言われる。世界で一・二の長寿国である。医学の進歩は想像を超えて来た。

百歳まで生きるのは夢ではなくなつて来た。しかし現在、百歳を迎えて達者で生きている老人は少ない。大方は病院のベッドに横たわるか、介護施設で世話になっている人が多い。中には自宅で死を迎えたい人もあつて、家族に介護をして貰う人もある。老老介護ならよいが、介護のために離職する人もいる。これから介護の必要な高齢者は増加し、大きな社会問題となるだろう。

高齢者は一年でも健康に生きるために、体調管理に努めることが何より大切である。早期治療のため健康診査も必要だが、薬漬けになつてし

まう人も多い。「天は自ら助くる者を助く」医師や薬にばかり頼らず、進化の神がつくつてくれた身体に自信を持ちたい。「足」を使って歩くのが健康のために良いと言われて来たが、自動車の普及によつて歩くことが少なくなつた。手を動かすことも良いと言われていたが、便利な家庭用品が出回つて、手持ち無沙汰になつている。頭を使うことも「スマホ」に取つて代わられてしまった。労働も体力を必要とする作業は重機に任せってしまった。人体ほど素晴らしい物はないと思つていたら、人間の知能を上回る「AI」ロボットが誕生し、人間の仕事を奪つてしまうと心配されてる。

「ロボット」は食べなくても働くが、私達人間は食べるのが楽しみで生きている。「医食同源」と言われて来たが、病気になる原因として、毎日食べる野菜や果物に使う農薬、牛や豚

の飼料に混入する肥育促進剤、スーパーに並ぶ加工食品に使用されている添加物などがあげられる。さらに、海外で加工されて来る食品に不安を感じている人が多いのに、国の食品衛生法をかいくぐつて輸入されている。

とはいえ選別していれば食べる物がなくなつてしまう。体力のある人は生き延びられるが、医師と薬に頼つている人にとっては「毒と薬」のせめぎ合いで生きているようなものだ。加えて最新の設備と優秀な技術により手術で再生する病院もあるが、問題視する医師もある。

私も来年は九十歳になるが、めつきり体調が悪くなつてしまった。「医食同源」を信じ「無農薬野菜」を作つている。最後は病院や自宅でなく、緑の「しとね」の畑で終焉を迎えたいと思つている。

(文責)

天野長三郎

11月の丸森から

丸森だより

(11/25までの実績)

町外から		町内		合 計	その内 (外国関係)
大人	幼小中高	大人	幼小中高		
1,697	236	129	35	2,097	74
				H30,4月～	8,045人
				オープンから	19,258人

(団体等)

- * 稚児行列 稚児応募84人ほど+家族+見学者+旅の人
- * オオクテツクルテ第1日.....主催者発表1000人 (丸森関係は 311人)
- * オオクテツクルテ第2日.....主催者発表1500人 (丸森関係は 454人)
- * JR さわやかウォークJR 釜戸駅に823人+歩き+車+その他
(丸森関係は 450人)
- * ぎふ17宿踏破イベントで大湫宿からのスタート.....参加者43名
- * 外国人ツアー(8回で74人)・・秋のツアーは11/17で終了
- * 団体(9回).....巨木の会、犬山の団体、北海道市議、日吉サテライト(2)、歩く会、男の料理、歩きグループ、るるサロン、
- * 釜戸小学校3年生・6年生が町探検・歴史探検で訪れる

丸森の活用事業

11月は、オオクテツクルテへの共催と JR さわやかウォークへの共催、和宮関係展示などで大いに賑わいを見せた。これも大湫町・日吉町等のご協力のおかげと感謝している。



12月の丸森.....館内には正月を前に「もち花展示と販売」、表通りには吊るし柿



せらお H30
000

大湫町コミュニティ
推進協議会
集まるう会

12月の集まるう会

★ 12月の太鼓は.....

○ 昼間の練習日 (集まるう会の日です)
12/15 (土) 9時30分、練習の後、ファミリー菜園についての話し合いと、野山の散策をしましょう。

○ 夜の練習日

12/3 (月) 7時~8時 「大杉」「楽」「大湫太鼓」

※ 太鼓練習の後、みんなが掃除をしたいと思います。雑巾も、持参下さい。

※ 女太鼓のみなさんから「ニのはっぴを使って、みんなよー頑張っているでねー」等と、言って、はっぴ等を、借りにいただきました。ありがとうございました。使わせていただきます。

今年の販売

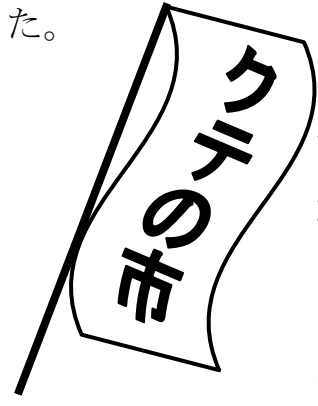
「クテの市」 11月末で終了

ご協力ありがとうございました



毎週、木曜日と日曜日に開店してきた

「クテの市」、今年の販売を11月29日(木)に終了いたしました。4月19日から開店し、最初はタケノコやワラビが並び、11月に入ると白菜やカブ、大根と冬野菜に。「足立農園」からのトマト出荷も始まりました。



「オオクテ・ツクルテ」に協賛した「大・クテの市」では、「米屋」の“蔵出し品”が大評判。「良い買い物できた」と大喜びでたくさん買い求められた方もいらっしゃいました。

農産物を提供いただいた皆さん、ありがとうございました。

大湫コミ・公民館からのお知らせ



『大しめ縄飾りづくり』

日時：12月16日（日）

午前8時から

場所：大湫公民館

会費：500円

*しめ縄は、厄を除き禍を入れない役割を果たすといわれています。

『越年マラソン大会』

12月31日（大晦日・月）

スタート：23時45分頃予定

スタート場所：大湫公民館駐車場前

*詳しくは配布するチラシをご覧ください。



青色回転灯防犯パトロール

12月のパトロール予定者



12/上旬：足立 亘
奥村 寛
12/下旬：三戸憲和
渡辺貴憲

デマンド交通

利用者(大湫～日吉東部)

10月：47便 延べ95名

皆さん、もっとも
っと利用して下さいね。

オススメ！大湫分室の本 『野生のベリージャム』

小島聖：著

女優・小島聖が大自然に魅せられ、国内のみならず海外の山へと旅にでます。現地で食べられる料理もレシピとともに紹介しているので一緒に旅をしているような気分が味わえます。

注意！

11月の不燃ごみ・資源ごみで間違った出し方をされた方がありました。瑞浪市から配布されている「**家庭ごみの分け方・出し方**」便利帳をもう一度確認してください。紛失された方は大湫公民館までご連絡ください。 TEL：63-2360

区長日記

11月も文化祭・晋山式・オオクテツクルテ・JRさわやかウォークなど行事の多い一か月でしたが、何れも天候に恵まれ、多くの来場者をお迎えし、錦秋の大湫宿を堪能していただけたものと嬉しく思っております。

この間、準備作業から当日の運営に至るまで、役員はもとより多くの町民の皆さんのご協力を得て、穏やかな中にも大湫らしい「おもてなし」ができたことを、心から感謝申し上げます。また秋期には、毎年長寿会の皆さんが地域花壇の整備に取り組んでくださり、日頃からの野菜・庭木・プランターの手入れと相まって、住む人にも訪れる人にとっても心地よい、大湫の街並みが維持されていることを強く感ずる今日この頃です。

二千二十年のオリンピック開催に向かって、外国の人たちが毎日のように訪れる大湫宿になって参りましたが、彼らが感動を覚え、また私たちが伝えるべくは、素朴で誠実な大湫人の日々の暮らしそのものではないかと思うものです。

区長会長 足立

11月3日 大湫町文化祭

4日 宗昌寺晋山式

5日 オオクテ・ツクルテ最終実行委員会

6日 大湫区長会・幹事会

8日 オオクテ・ツクルテ準備作業

10日・11日 オオクテ・ツクルテ開催

12日 道の駅検討委員会・市政功労者表彰式

13日 連合自治会・まちづくり協議会連絡会

14日 大湫町民ゴルフ大会

15日 本陣山登山道整備事業

16日 米屋整備事業調整会議

17日 転入対策委員会

18日 JRさわやかウォーキング

20日 長寿会秋の環境整備事業

21日 岐阜県自治連合研修大会

23日 神明神社新嘗祭

29日 瑞浪市景観審議会

平成三十年十二月行事予定

日	一	二	三	四	五	六	七	八	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十		
曜	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
	景観先進地視察（滋賀県）	緑化推進作業・桃山道整備	財産区全員会議	リ・アツプ「ひよも」	カバープランツ追肥作業（彼岸花）	定例区長・幹事会	おしゃべりサロン	子ども会（クリスマス会）	防犯推進の会特別警戒出発式	大しめ縄飾り作り	*天皇誕生日	*振替休日	広報委員会	幼・小・中学校終業式	市仕事納め	年末夜間特別警戒	年末夜間特別警戒	蕎麦打ち体験	越年マラソン大会												

今月の資源ごみ: 12/19 (水) 不燃ごみ: 12/6 (木)

編集後記

あつという間に師走。
振り返って今年はどうな年だったか考える余裕もなく、ハイスピードで一年が過ぎてくよう
で・・・！

気持ちが焦っているとパソコンを打つ手も集中力に欠け、ミスばかりで皆さんにご迷惑をかけるばかりで・・・トホホホ。
ともあれ、残りわずかの今年をまずは頑張りたいと思います。
インフルエンザが流行する季節です。早め々の対策を・・・

11月号にて誤ったページ、青パト当番を記載した事をお詫びします。